

## JaMaPS のハイパーレイヤリング技術

従来のベクトルグラフィックスフォーマットには、オンラインパブリッシング向けの PDF、インタラクティブアニメーション向けの FLASH が存在していたが、いずれも WWW 標準フォーマットではなかった。そこで、W3C (World Wide Web Consortium) で WWW 標準として策定された、XML 形式のベクトルグラフィックスフォーマットが、SVG (Scalable Vector Graphics) である。

KDDI 研究所では、JaMaPS (Java MaPping System) と呼ぶ、共通の座標系 ID を URI として定義した上で、WWW 上に自立分散した地理情報 (SVG コンテンツ群) を重ね合わせ表示するハイパーレイヤリング技術を備えた、地理情報プラットフォームの研究開発を行った。このハイパーレイヤリングの仕様は、2001 年に JIS 規格として公告された。また当社は、W3C の SVG Working Group に参加、SVG1.1/Mobile 仕様の標準化活動を行い、2003 年に、Coordinate Reference System と呼ばれる、SVG1.1 の標準仕様として採択された。さらに、携帯電話等のモバイル端末向けプロファイルとして、SVG Mobile Profile (SVG 1.1 のサブセット仕様) の標準化にも寄与し、当社開発の SVG ブラウザが、標準仕様に準拠した実装として、W3C SVG Working Group に採用された。

また、本技術は、大容量地図コンテンツを事前に携帯電話にダウンロードし効率よく地図情報の利用を可能とした専門ガイドマップ「EZ ガイドマップ」や、災害時の避難支援サービス「災害時ナビ」など、幅広いサービスにて活用された。

